① 人口

C0101 人口規模

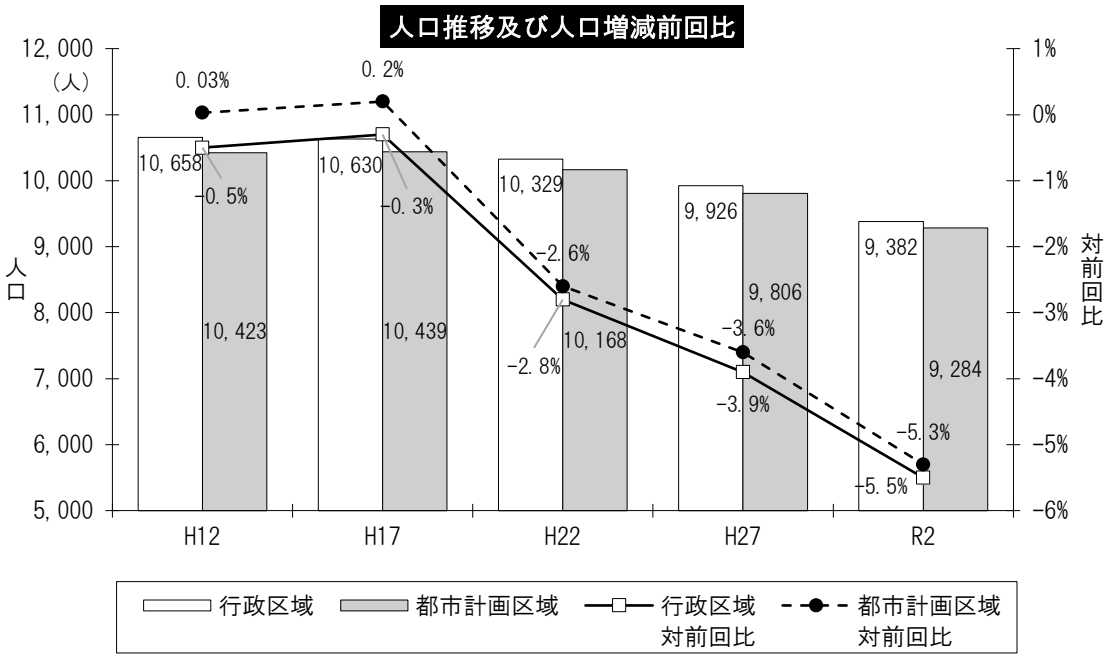
C0101_人口総数・増加数

平成 12 年から令和 2 年にかけて、行政区域および都市計画区域のいずれにおいても人口が一貫して減少している。さらに、減少率は徐々に拡大傾向にあり、平成 27 年から令和 2 年にかけての変化を見ると、行政区域は 5.5%の減少と最も大きな落ち込みを示している。一方、都市計画区域でも同様の傾向が見られ、20 年前の増加（平成 12 年から平成 17 年の 0.2%増）を経て、減少に転じている。

図表 1. C0101_人口総数・増加数(集計表)

区域区分	H12年	H12年～H17年の増減		H17年	H17年～H22年の増減		H22年	H22年～H27年の増減		H27年	H27年～R2年の増減		R2年
	人口 人	人口 人	率 %	人口 人	人口 人	率 %	人口 人	人口 人	率 %	人口 人	人口 人	率 %	人口 人
行政区域	10,658	-28	-0.3	10,630	-301	-2.8	10,329	-403	-3.9	9,926	-544	-5.5	9,382
都市計画区域	10,423	16	0.2	10,439	-271	-2.6	10,168	-362	-3.6	9,806	-522	-5.3	9,284

（平成 12, 17, 22, 27 年、令和 2 年国勢調査をもとに作成）



図表 2. 人口推移及び人口増減前回比

C0101_年齢・性別人口

令和 2 年の 5 歳階級別人口を見ると、男女とも第 1 次ベビーブームに該当する世代である 70～74 歳の人口が最も多い。比較的少ないのは 40 歳未満であり、200 人から 150 人の間に留まっている。0 歳～4 歳は男女ともに約 110 人と最も少ない。

平成 12 年と令和 2 年を比較すると、平成 12 年は 50～74 歳の層に重心があったものが、令和 2 年には年齢が上がり 60～79 歳にスライドしている。

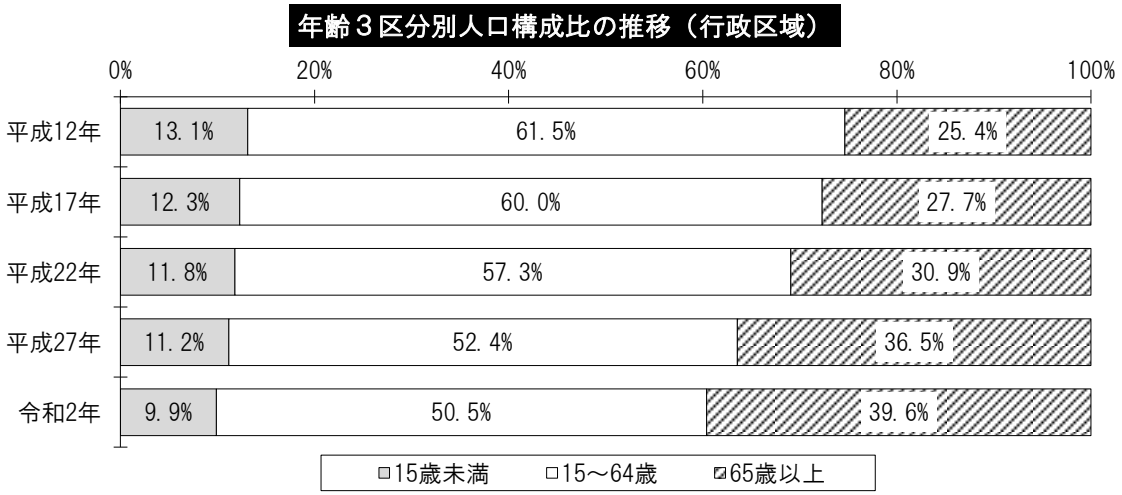
また、年齢 3 区分別人口をみると、15 歳未満と 15～64 歳の人口割合は一貫して減少し続け、65 歳以上は増加し続けている。人口数で見ると、15 歳未満は 1,397 人から 926 人（33.7%減）、15～64 歳は 6,556 人から 4,730 人（27.9%減）、65 歳以上は 2,705 人から 3,708 人（37.1%増）となっている。構成比で見ると 15 歳未満は 13.1%から 9.9%、15～64 歳は 61.5%から 50.5%に減少、一方で 65 歳以上は 25.4%から 39.6%と増加が顕著である。

図表 3. C0101_年齢・性別人口(集計表)

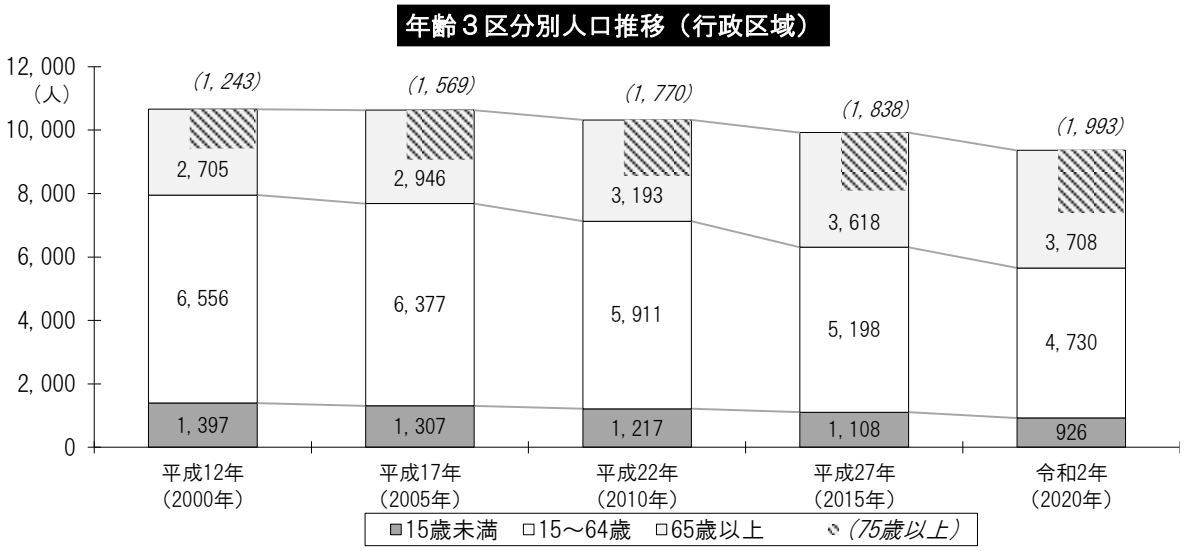
単位：人

	平成12年			平成17年			平成22年			平成27年			令和2年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
0-4歳	389	206	183	377	186	191	325	164	161	300	166	134	228	115	113
5-9歳	477	226	251	426	224	202	433	217	216	359	185	174	334	188	146
10-14歳	531	267	264	504	236	268	459	242	217	449	226	223	364	186	178
15-19歳	567	297	270	483	250	233	447	217	230	414	208	206	416	218	198
20-24歳	530	271	259	444	229	215	344	166	178	338	155	183	301	165	136
25-29歳	617	311	306	539	290	249	436	222	214	304	155	149	301	155	146
30-34歳	548	279	269	637	337	300	525	282	243	383	190	193	287	152	135
35-39歳	557	278	279	579	293	286	656	348	308	569	300	269	389	203	186
40-44歳	613	296	317	564	279	285	608	306	302	669	352	317	575	299	276
45-49歳	715	357	358	634	306	328	582	288	294	597	294	303	657	342	315
50-54歳	936	462	474	718	354	364	616	291	325	551	262	289	605	301	304
55-59歳	795	393	402	957	463	494	728	361	367	630	300	330	554	262	292
60-64歳	678	334	344	822	405	417	969	478	491	743	360	383	645	312	333
65-69歳	747	354	393	662	323	339	805	398	407	1,003	487	516	747	363	384
70-74歳	715	316	399	715	323	392	618	297	321	777	367	410	968	471	497
75-79歳	576	239	337	655	277	378	656	286	370	572	271	301	728	343	385
80-84歳	335	108	227	499	200	299	532	203	329	557	227	330	489	212	277
85-89歳	230	75	155	256	75	181	360	122	238	410	140	270	417	161	256
90歳以上	102	37	65	159	37	122	222	51	171	299	73	226	359	98	261
不詳	0	0	0	0	0	0	8	4	4	2	1	1	18	6	12
総数	10,658	5,106	5,552	10,630	5,087	5,543	10,329	4,943	5,386	9,926	4,719	5,207	9,382	4,552	4,830

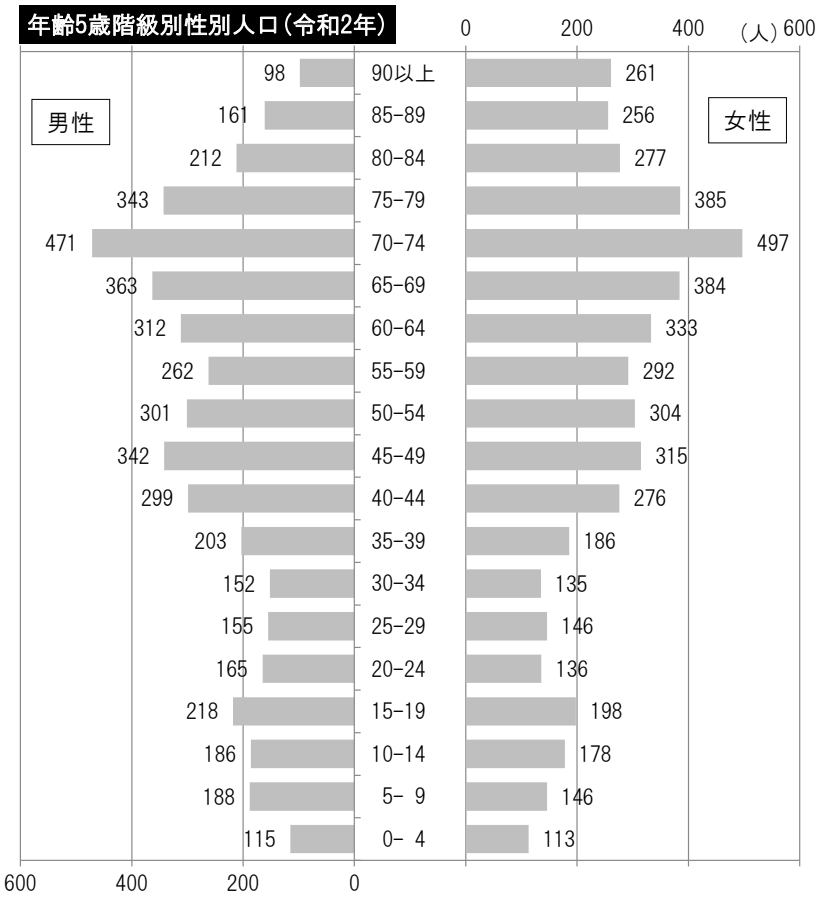
（平成 12, 17, 22, 27 年、令和 2 年国勢調査）男女別・年齢階級（5 歳階級）別人口をもとに作成）



図表 4. 年齢 3 区分別人口構成比の推移（行政区域）



図表 5. 年齢３区分別人口の推移



図表 6. 5 歳階級別性別人口（行政区域）_令和 2 年

C0103 将来人口

国立社会保障・人口問題研究所による池田町の将来人口推計では、減少が続くことが予測されており、令和 2 年から 30 年後の令和 32 年にかけて、総人口は 9,382 人から 6,153 人へと大幅に減少する。特に 15 歳未満の若年層と 15～64 歳の生産年齢人口層が大きく減少し、将来的な労働力不足や経済活動の縮小が懸念される。一方、65 歳以上は令和 12 年まではほぼ横ばいで推移した後に減少に転じるものの、75 歳以上の後期高齢者の割合は高いままで推移する。

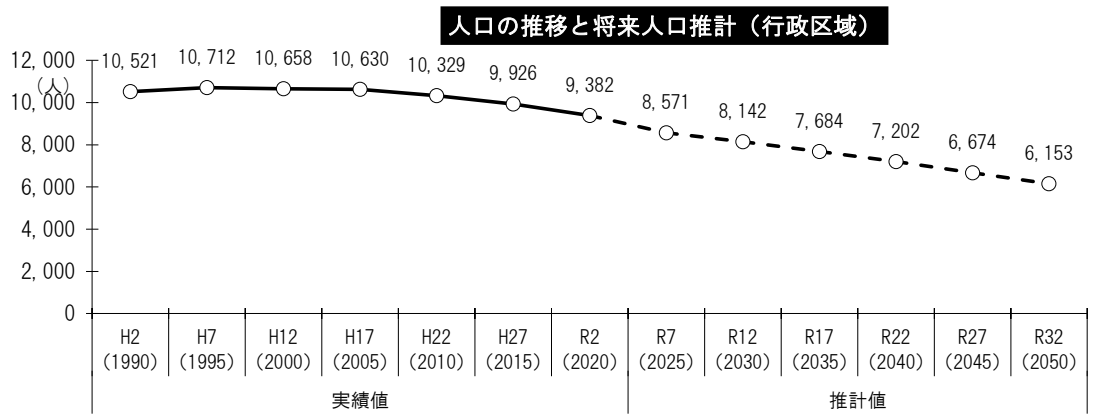
図表 7. 将来人口（集計表）　　単位：人

	令和2年（2020年）			令和7年（2025年）			令和12年（2030年）			令和17年（2035年）		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	9,382	4,552	4,830	8,571	4,144	4,427	8,142	3,935	4,207	7,684	3,708	3,976
0-4歳	228	115	113	181	93	88	169	87	82	164	84	80
5-9歳	334	188	146	261	130	131	205	105	100	193	99	94
10-14歳	364	186	178	350	196	154	275	137	138	217	111	106
15-19歳	416	218	198	328	169	159	315	177	138	248	124	124
20-24歳	301	165	136	312	159	153	248	125	123	237	131	106
25-29歳	301	155	146	293	168	125	298	160	138	238	127	111
30-34歳	287	152	135	305	157	148	295	167	128	300	159	141
35-39歳	389	203	186	315	169	146	334	174	160	325	186	139
40-44歳	575	299	276	402	207	195	324	172	152	344	177	167
45-49歳	657	342	315	577	296	281	402	204	198	324	170	154
50-54歳	605	301	304	644	330	314	565	285	280	394	197	197
55-59歳	554	262	292	620	310	310	659	340	319	578	294	284
60-64歳	645	312	333	567	270	297	635	320	315	675	350	325
65-69歳	747	363	384	640	305	335	576	273	303	648	325	323
70-74歳	968	471	497	698	329	369	618	289	329	557	259	298
75-79歳	728	343	385	856	402	454	653	303	350	580	267	313
80-84歳	489	212	277	579	250	329	758	338	420	581	255	326
85-89歳	417	161	256	324	121	203	459	181	278	615	252	363
90歳以上	359	98	261	319	83	236	354	98	256	466	141	325
15歳未満（再掲）	926	489	437	792	419	373	649	329	320	574	294	280
15～64歳（再掲）	4,730	2,409	2,321	4,363	2,235	2,128	4,075	2,124	1,951	3,663	1,915	1,748
65歳以上（再掲）	3,708	1,648	2,060	3,416	1,490	1,926	3,418	1,482	1,936	3,447	1,499	1,948
75歳以上（再掲）	1,993	814	1,179	2,078	856	1,222	2,224	920	1,304	2,242	915	1,327

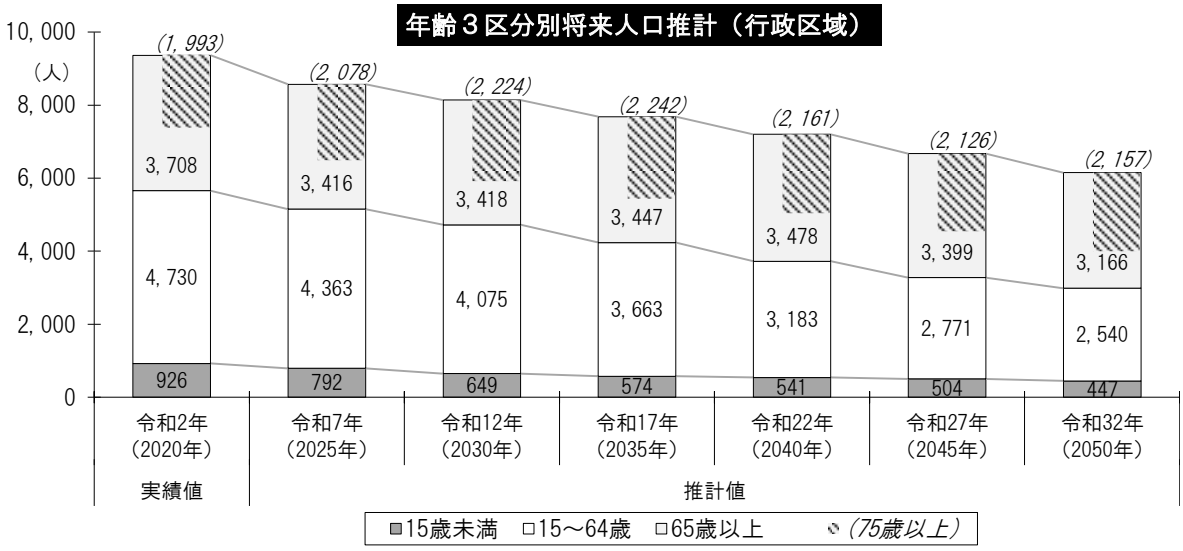
	令和22年（2040年）			令和27年（2045年）			令和32年（2050年）		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	7,202	3,482	3,720	6,674	3,233	3,441	6,153	2,993	3,160
0-4歳	148	76	72	134	69	65	112	57	55
5-9歳	188	96	92	171	88	83	154	79	75
10-14歳	205	105	100	199	102	97	181	93	88
15-19歳	196	101	95	184	95	89	179	92	87
20-24歳	187	92	95	147	74	73	139	70	69
25-29歳	230	134	96	180	94	86	142	76	66
30-34歳	243	130	113	235	137	98	185	96	89
35-39歳	331	177	154	267	144	123	259	152	107
40-44歳	337	191	146	342	181	161	277	148	129
45-49歳	346	176	170	338	189	149	343	179	164
50-54歳	317	164	153	340	170	170	333	184	149
55-59歳	403	203	200	325	169	156	349	176	173
60-64歳	593	303	290	413	209	204	334	175	159
65-69歳	688	355	333	605	308	297	422	213	209
70-74歳	629	311	318	668	340	328	587	294	293
75-79歳	526	242	284	596	291	305	633	318	315
80-84歳	521	228	293	477	208	269	544	253	291
85-89歳	471	190	281	430	173	257	400	161	239
90歳以上	643	208	435	623	192	431	580	177	403
15歳未満（再掲）	541	277	264	504	259	245	447	229	218
15～64歳（再掲）	3,183	1,671	1,512	2,771	1,462	1,309	2,540	1,348	1,192
65歳以上（再掲）	3,478	1,534	1,944	3,399	1,512	1,887	3,166	1,416	1,750
75歳以上（再掲）	2,161	868	1,293	2,126	864	1,262	2,157	909	1,248

（将来の地域別男女 5 歳階級別人口（令和 5 年推計）［国立社会保障・人口問題研究所］年齢別男女別将来人口をもとに作成）

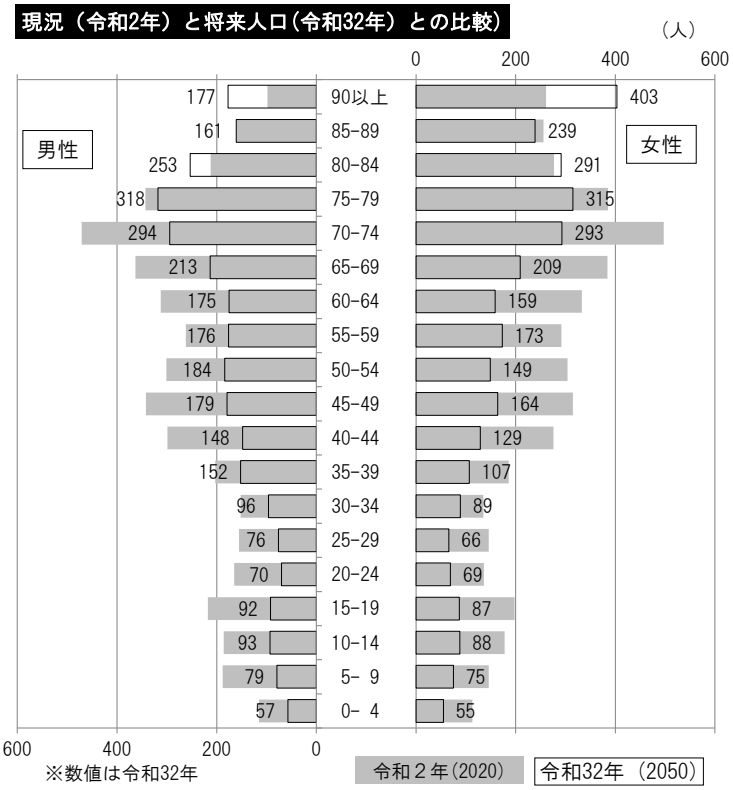
（令和 2 年の数値は国勢調査）



図表 8. 人口の推移と将来人口推計（行政区域）



図表 9. 年齢 3 区分別将来人口推計（行政区域）



図表 10. 現況（令和２年）と将来人口（令和 32 年）との比較

C0104 人口増減

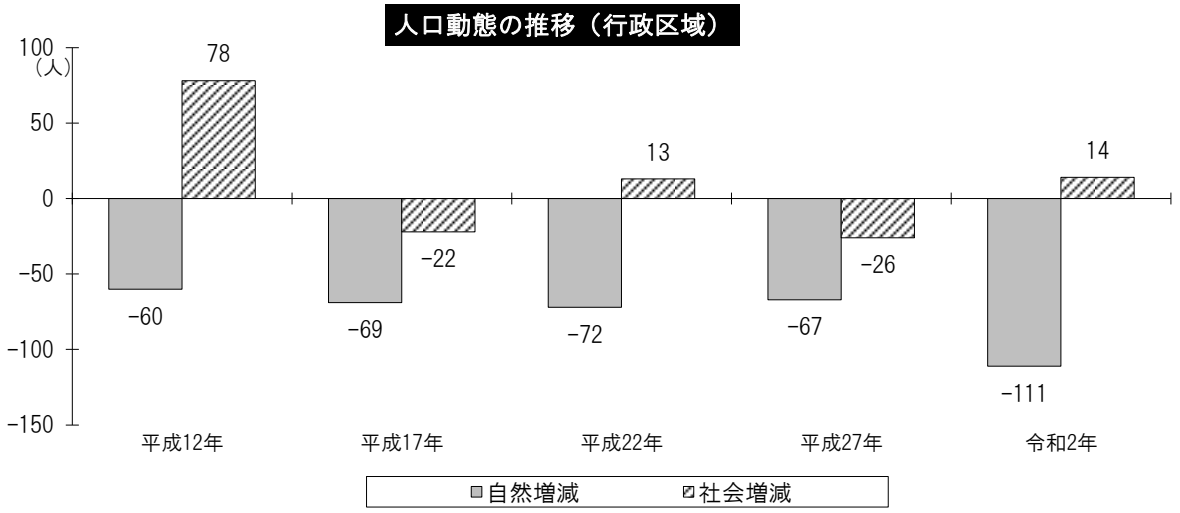
行政区域における平成 12 年以降の人口異動状況を見ると、自然増減が一貫して減少傾向であり、少子化の進行と死亡数の増加が顕著であることがわかる。平成 12 年は転入者の大幅な増加により人口増加に繋がったが、以降は特に令和 2 年には自然減が-111 人と過去最大となり、人口減少の主因となっている。そのため、社会増減は年ごとに変動しているものの、全体的には人口増加への寄与があまり見られない。

図表 11. 人口増減（集計表）

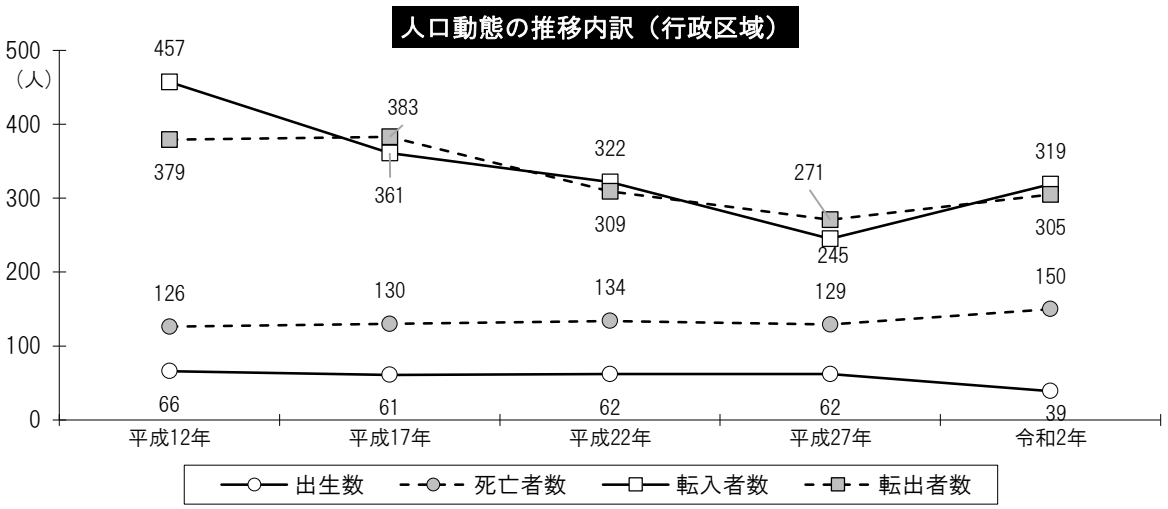
単位：人

	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
自然増減	-60	-69	-72	-67	-111
出生数	66	61	62	62	39
死亡者数	126	130	134	129	150
社会増減	78	-22	13	-26	14
転入者数	457	361	322	245	319
転出者数	379	383	309	271	305
（その他増減）	6	8	3	4	2
人口増減　計	24	-83	-56	-89	-95

（長野県の統計情報 毎月人口異動調査　市町村別異動状況をもとに作成）



図表 12. 人口増減（集計表）



図表 13. 人口増減（集計表）

C0105 通勤・通学移動

平成 12 年から令和 2 年までの就業者による流出・流入人口を見ると、常住地は減少が続いており、従業地は平成 22 年まで減少していたものの、平成 27 年以降は増加に転じている。通学者は、常住地では増減が変動しており、従業地は概ね減少傾向にある。就業者・通学者の人数は、ともに常住地が従業地を上回っている。

令和 2 年の市町村別の流出入先を見ると、就業者・通学者ともに安曇野市、松本市、大町市及び松川村の町の近郊に集中しているが、通学者は遠方からの流入も多い。

図表 14. C0105_通勤・通学移動（集計表）<就業者>

年	常住地による就業者数（人）	流出		従業地による就業者数（人）	流入		従／常就業者比率（%）
		就業者数（人）	流出率（%）		就業者数（人）	流入率（%）	
平成12年	5,761	2,830	49.1	4,667	1,736	37.2	81.0
平成17年	5,528	2,858	51.7	4,407	1,737	39.4	79.7
平成22年	4,962	2,793	56.3	3,969	1,787	45.0	80.0
平成27年	4,813	2,736	56.8	3,997	1,916	47.9	83.0
令和2年	4,687	2,668	56.9	3,990	1,953	48.9	85.1

図表 15. C0105_通勤・通学移動（集計表）流出・流入先人口推移 <就業者>

年	流出先								
	流出率第1位			流出率第2位			流出率第3位		
	市町村名	流出者数（人）	流出率（%）	市町村名	流出者数（人）	流出率（%）	市町村名	流出者数（人）	流出率（%）
平成12年	松本市	662	11.5	大町市	560	9.7	穂高町	523	9.1
平成17年	安曇野市	1,129	20.4	松本市	702	12.7	大町市	530	9.6
平成22年	安曇野市	1,078	21.7	松本市	675	13.6	大町市	579	11.7
平成27年	安曇野市	1,006	20.9	大町市	635	13.2	松本市	605	12.6
令和2年	安曇野市	1,000	21.3	大町市	612	13.1	松本市	567	12.1

年	流出先					
	流出率第4位			流出率第5位		
	市町村名	流出者数（人）	流出率（%）	市町村名	流出者数（人）	流出率（%）
平成12年	豊科町	342	5.9	松川村	252	4.4
平成17年	松川村	236	4.3	塩尻市	47	0.9
平成22年	松川村	217	4.4	塩尻市	55	1.1
平成27年	松川村	249	5.2	塩尻市	61	1.3
令和2年	松川村	236	5.0	塩尻市	70	1.5

年	流入先								
	流入率第1位			流入率第2位			流入率第3位		
	市町村名	流入者数（人）	流入率（%）	市町村名	流入者数（人）	流入率（%）	市町村名	流入者数（人）	流入率（%）
平成12年	大町市	504	10.8	松川村	402	8.6	穂高町	276	5.9
平成17年	安曇野市	579	13.1	大町市	471	10.7	松川村	380	8.6
平成22年	安曇野市	647	16.3	大町市	499	12.6	松川村	394	9.9
平成27年	安曇野市	737	18.4	大町市	491	12.3	松川村	385	9.6
令和2年	安曇野市	804	20.2	大町市	432	10.8	松川村	419	10.5

年	流入先					
	流入率第4位			流入率第5位		
	市町村名	流入者数（人）	流入率（%）	市町村名	流入者数（人）	流入率（%）
平成12年	松本市	117	2.5	明科町	103	2.2
平成17年	松本市	126	2.9	生坂村	28	0.6
平成22年	松本市	153	3.9	生坂村	18	0.5
平成27年	松本市	189	4.7	筑北村	18	0.5
令和2年	松本市	191	4.8	長野市 白馬村	17	0.4

（平成 12, 17, 22, 27 年、令和 2 年国勢調査　常住地・従業地における就業者数をもとに作成）

図表 16. C0105_通勤・通学移動（集計表）<通学者>

年	常住地による通学者数（人）	流出		従業地による通学者数（人）	流入		従／常通学者比率（%）
		通学者数（人）	流出率（%）		通学者数（人）	流入率（%）	
平成12年	521	376	72.2	411	266	64.7	78.9
平成17年	457	292	63.9	438	273	62.3	95.8
平成22年	471	345	73.2	439	303	69.0	93.2
平成27年	428	314	73.4	400	286	71.5	93.5
令和2年	423	271	64.1	398	239	60.1	94.1

図表 17. C0105_通勤・通学移動（集計表）流出・流入先人口推移 <通学者>

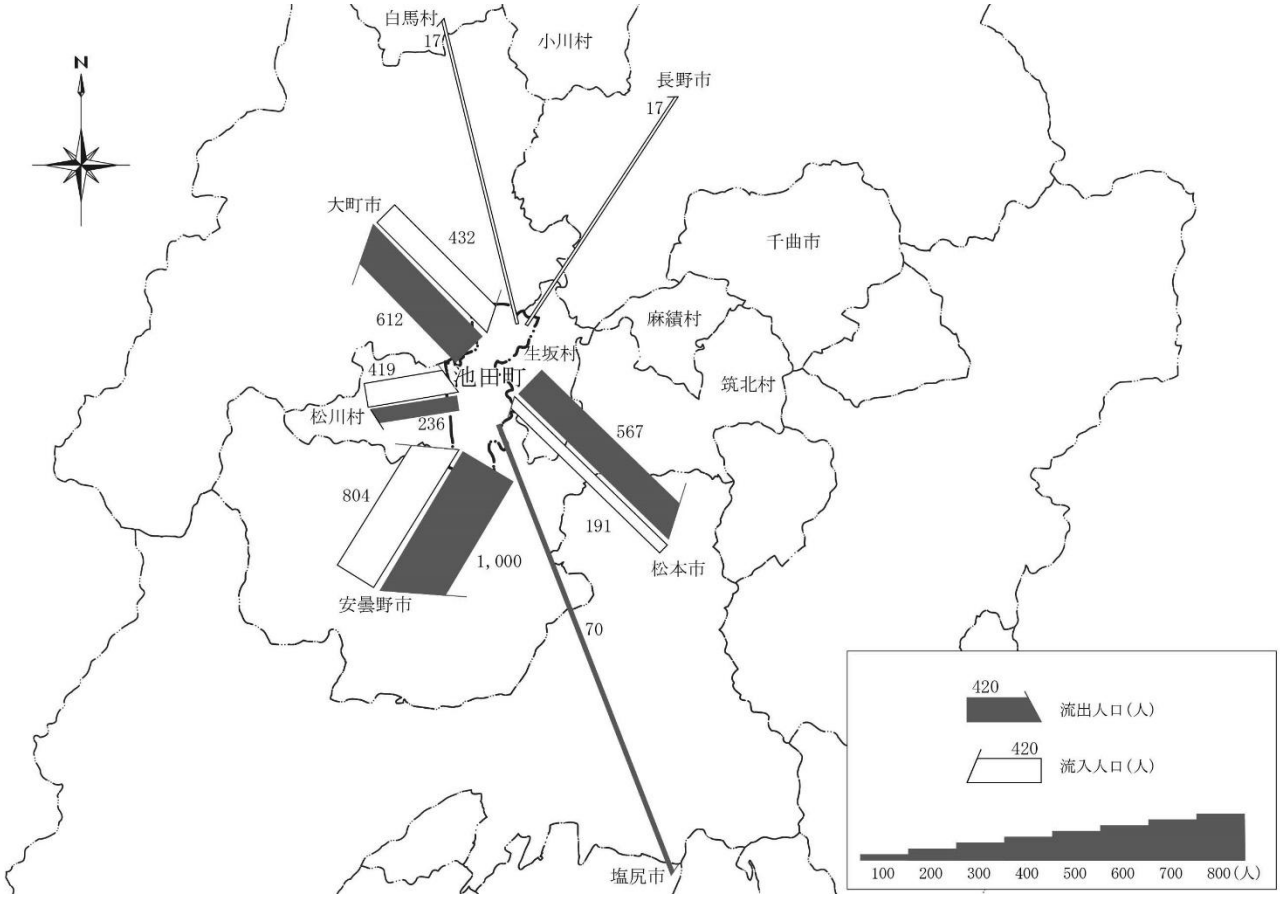
年	流出先								
	流出率第1位			流出率第2位			流出率第3位		
	市町村名	流出者数（人）	流出率（%）	市町村名	流出者数（人）	流出率（%）	市町村名	流出者数（人）	流出率（%）
平成12年	松本市	142	27.3	豊科町	72	13.8	大町市	53	10.2
平成17年	松本市	119	26.0	安曇野市	74	16.2	大町市	56	12.3
平成22年	松本市	153	32.5	大町市	85	18.0	安曇野市	60	12.7
平成27年	松本市	162	37.9	安曇野市	64	15.0	大町市	43	10.0
令和2年	松本市	125	29.6	安曇野市	53	12.5	大町市	43	10.2

年	流出先					
	流出率第4位			流出率第5位		
	市町村名	流出者数（人）	流出率（%）	市町村名	流出者数（人）	流出率（%）
平成12年	穂高町	29	5.6	明科町	27	5.2
平成17年	長野市 塩尻市	6	1.3	上田市	4	0.9
平成22年	長野市	12	2.5	茅野市 塩尻市	3	0.6
平成27年	長野市	20	4.7	上田市	4	0.9
令和2年	長野市	9	2.1	塩尻市	4	0.9

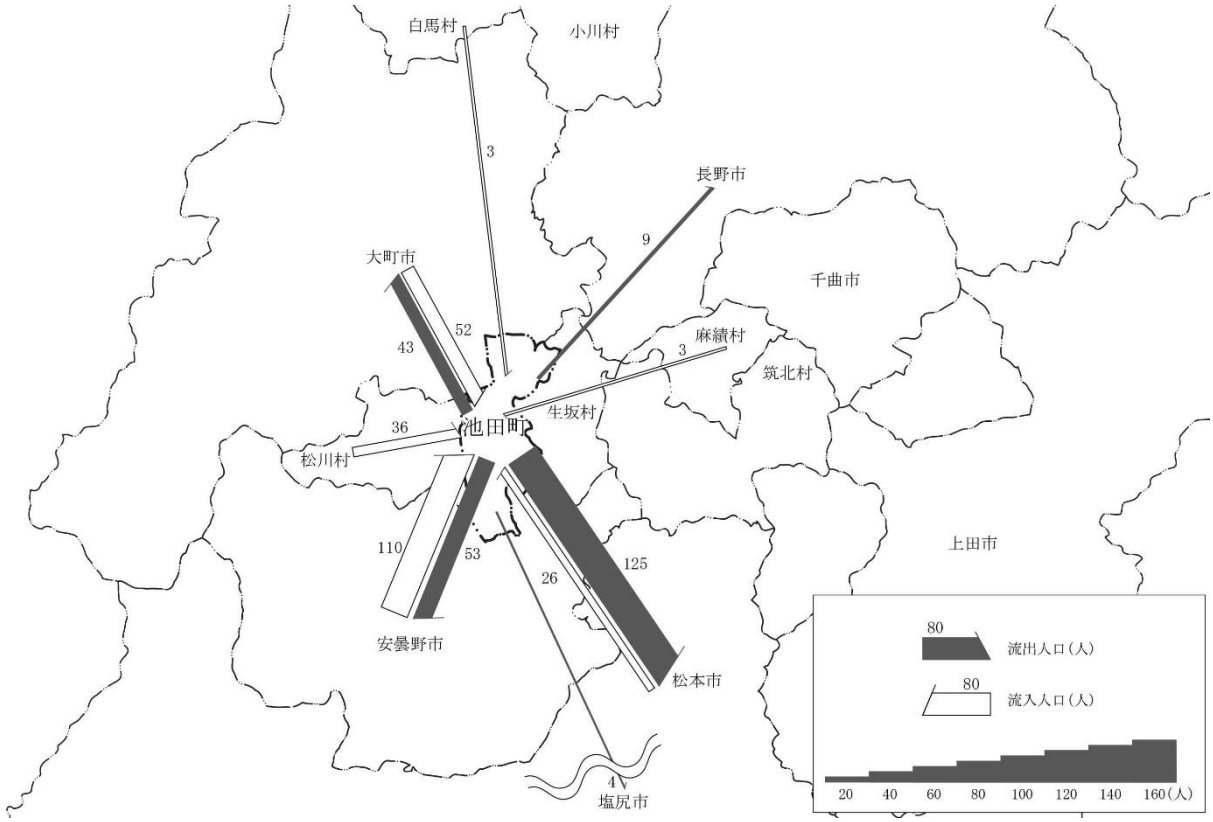
年	流入先								
	流入率第1位			流入率第2位			流入率第3位		
	市町村名	流入者数（人）	流入率（%）	市町村名	流入者数（人）	流入率（%）	市町村名	流入者数（人）	流入率（%）
平成12年	大町市	95	23.1	穂高町	40	9.7	松川村	25	6.1
平成17年	安曇野市	112	25.6	大町市	67	15.3	松川村	37	8.4
平成22年	安曇野市	123	28.0	大町市	66	15.0	松川村	58	13.2
平成27年	安曇野市	120	30.0	大町市	88	22.0	松川村	36	9.0
令和2年	安曇野市	110	27.6	大町市	52	13.1	松川村	36	9.0

年	流入先					
	流入率第4位			流入率第5位		
	市町村名	流入者数（人）	流入率（%）	市町村名	流入者数（人）	流入率（%）
平成12年	明科町	16	3.9	白馬村	14	3.4
平成17年	松本市	18	4.1	白馬村	10	2.3
平成22年	松本市	28	6.4	白馬村	12	2.7
平成27年	松本市	26	6.5	筑北村 白馬村	7	1.8
令和2年	松本市	26	6.5	白馬村 麻績村	3	0.8

（平成 12, 17, 22, 27 年、令和 2 年国勢調査　常住地・従業地における通学者数をもとに作成）



図表 18. 流出・流入人口（令和 2 年） 〈就業者〉



図表 19. 流出・流入人口（令和 2 年） 〈通学者〉